



FedEx80 便事故の慰霊祭開催

2009年3月23日に発生した FedEx80 便 (MD-11 型機) 事故の慰霊祭が、2019年3月23日、成田国際空港近くの桜の丘公園で執り行われました。

本事故では、強風の中、成田国際空港への着陸を試みた FedEx80 便が着陸時に転覆し、2名の運航乗務員が死亡しました。事故調査の為に米国から派遣された NTSB(米国運輸安全委員会)の Go-Team (緊急派遣事故調査チーム/NTSB+米国 ALPA) に対して、事故発生直後から ALPA Japan が行った「日本の事故調査における対応」についてのブリーフィングは、深夜にまで及びました。この事故以降も ALPA Japan は米国 ALPA と共同で、IFALPA (国際定期航空操縦士協会連合会) AAP Committee (Accident Analysis and Prevention、事故解析委員会) 等を通じて、MD-11 の飛行特性や事故調査の問題についての取り組みを続けてきました。

本年は事故発生後 10 年の節目を迎えることから、関係者による慰霊祭が開催され、事故当時様々な分野で事故対応を支援した ALPA Japan や CISM (Critical Incident Stress Management、惨事ストレス対応) 関係者、航空局管制機関関係者、消防関係者等が式典へ招待されました。慰霊祭当日は冷たい雨が降る中、この日の為に来日した米国 ALPA の President や FedEx 関係者、さらには NRT や KIX に運航宿泊中だった FedEx 乗員 30 名を含む総勢約 50 名が参列し、死亡した 2 名の乗員の冥福を祈ると共に、航空安全への誓いを新たにしました。



上写真 : 成田空港近隣 桜の丘公園に設置されている記念碑